

田中耕太郎・第一声 石川康宏代表幹事あいさつ

2009年6月18日
午前9時30分
(JR元町駅)

おはようございます。田中耕太郎候補を先頭に、県政の転換をめざす「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」です。7月5日の投票日にはぜひともたくさんの方に投票にでかけていただきたいと思います。そして、力をあわせて県政の方向を大きく転換していきましょう。



県政を変えなければならない理由

現在の県政を転換させねばならない理由はどこにあるのか。その中心にあるのは、大企業にやさしく、県民につめたい姿勢の問題です。県内には、仕事がない、経営が成り立たない、生活が大変だという声がうずまいています。

①大企業優遇のムダ使い・大型開発

その中で、いまの知事は、パナソニックの関連会社に218億円の補助金を出すといい、経済活性化にとって「関東大震災はチャンス」と語り、神戸空港や但馬空港などの大型開発に熱中しています。

さらに神戸空港と関西国際空港をつなぐ7000億円の海底トンネルや6000億円の播磨臨海地域道路まで計画しています。

②大企業優遇の環境破壊

環境問題でも、兵庫県は年7300万tのCO2を排出する全国ワースト3の県ですが、その中心的な発生源である神戸製鋼所や関西電力に積極的な削減策を求めません。

それだけではありません。こうした大企業奉仕のツケを、まるまる県民の暮らしにまわしています。

③県民いじめの医療・福祉破壊

この7月1日から老人・乳幼児・重度障害者への医療助成がカットされます。年間28万人が利用している塚口病院をはじめ、12の県立病院の統廃合をすすめています。

④教育予算は全国最低レベル

県予算にしめる教育予算の割合は22%で、同一規模の県である神奈川39%、埼玉33%、千葉30%に比べ最低レベルとなっています。

⑤現知事のバックは大企業そのもの

なぜこういう県政になってしまっているのか。それは現知事の後援会「新生兵庫をつくる会」の会長が兵庫トヨタの会長であり、特別顧問に神戸商工会議所の会頭・神戸製鋼所元会長がすわるなど、知事の支援者の中心が大企業そのものであるからです。

これでは、大企業に社会的責任をはたさせる政治はできません。無法、無慈悲な非正規切りにストップをかけることもできません。

私たちが安心して暮らすことのできる兵庫県をつくるためには、知事を大企業の代表ではなく、県民の代表に転換していく必要があります。

くらしを守る財源はある

県民のくらしを守ろうとしても財源がないのだという議論がありますが、私はそうは思いません。無駄をはぶけば、財源はつくれます。

たとえば県が計画している大阪湾岸道路の西伸部は、全長15kmで総額5000億円を投入するというものです。1メートルあたり、なんと3333万円です。

①湾岸道路計画700メートル分 医療費助成復活

これに対して、先ほどの老人・乳幼児・重度障害者への医療費助成カットは10年計画で218億円の経費削減を見込むものです。しかし、この道路を700メートル短くすれば、この助成費カットは中止することができ、そのうえ15億円以上もおつりがくるのです。

—1400メートル分で県立病院の赤字解消—

県立病院統廃合の理由とされる赤字は、年間45億円です。これの10年分でも、道路1400メートル分でまかなえます。

みなさん、関空と神戸空港をつなぐ7000億円の海底トンネルや、6000億円の播磨臨海地域道路は本当に、いま急いでつくらねばならないものでしょうか。

②財源をつくるのは「くらしを支える政治姿勢」

財源がないことが問題なのではありません。財源を、県民のために、人間のくらしを支えることにふりむける政治の姿勢がないことが問題なのです。

7月5日は県政転換の日

みなさん、来る7月5日には、この県政を転換することができます。何より県民のくらしを第一に考える政治に転換することができます。

【県下全域をカバーする憲法県政の会】

すでに県下28の地域に憲法県政の会がつくられ、それぞれ創意ある取り組みをはじめています。

今の知事は、水面下で従来の支持基盤をかためながら、他方で、県政の問題点が多く多くの県民に明らかにならないように、表だった取り組みを避ける作戦に出ているようです。

【オール与党の特異な現県政】

国政では自民党・公明党との「対決」ポーズをとっている、民主党の県連や社民

党さえもがこの県政の応援にまわっているというのも実になさけないことです。

【私たちに大義がある】

みなさん、県政は県民のためにあるものです。この大義は、まちがいなく私たちの側にあります。そして、私たちにこのような県政を転換していく力があります。

【県政を語り世論と運動を急速に広げよう】

兵庫県政の問題点を多に語り、その転換の方向を大いに話題にして、静かな知事選といわれる現状を、ただちに打開していきましょう。

田中耕太郎兵庫県知事の実現に向け、みなさんのご尽力、ご支援を心よりお願いいたします。

(以上)